

2018年度 学校評価報告書

(自己評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2019年3月31日

同志社香里中学校・高等学校

学校評価委員会

はじめに

学校教育法及び同施行規則に基づき、本校において学校評価を実施するため、2018年11月、中学1年～3年の生徒と保護者、高校1年～3年の生徒と保護者、本校教員を対象に「学校評価アンケート」を配布し、2019年2月に結果を集約しました。同時にPTA役員及び同志社大学教員に学校関係者評価を実施して頂きました。この文書は本校の学校評価委員会が分析したものです。

本校は同志社大学の系列校として、中高一貫の独自の教育を行い、同志社教育の基本であるキリスト教主義に基づき、良心教育、自由主義、国際主義をさらに発展すべく努力しています。

今回の学校評価は本校の現状及び課題を再認識する契機として位置づけ、本校が大事にしてきた教育内容が連綿として守られているかを検証する上で大いに役立つものといえます。

また、そのことがステークホルダーである生徒、保護者、他の学校関係者に対する説明責任の一環として位置づけられ、教育の質の保証を確固たるものとするために、さらなる改善に役立てていきます。

1. 建学の精神

1874年、帰国した新島は、国内外の多くの人の協力を得て1875年に京都に「同志社英学校」を設立。キリスト教に基づいた教育をおこない、「自治自立の精神」と高度な国際感覚、そして良心をあわせもつ日本国民の育成をめざしました。以来、同志社には「一国の良心」でありたいと願う若者が全国から集い、新島の志を受け継いで社会へと羽ばたいています。

(1)キリスト教主義

いかに生きるべきかを考え、あたたかい心を養います。自らの人生を築いていくための指針を得る学習機会としてキリスト教主義教育を実践しています。日々の礼拝や聖書の授業、また市民団体と連携したボランティアやユニセフへの協力など、社会とも関わりながら学びます。

(2)自由主義

自分で考え、判断し、行動する。自立心を育む学びを展開しています。同志社香里の学習制度は、生徒が自ら主体的に学び、これからの人生を考えていけるように設計されています。少人数制の教育やキャリア教育などで自由に学び、生徒一人ひとりが可能性を大きく伸ばせるように導きます。

(3)国際主義

世界を知り、国際社会を生きるために本当に必要なことを学びます。新島襄が世界に目を向けて学んだことから同志社が生まれた伝統を重視し、わたしたちは広く世界について学ぶ国際主義を教育の柱としています。多彩な国際交流の機会を通じて、国際人に必須となる共生の心を養います。

2. 教育目標

(1) 同志社スピリットにあふれる「良心」の人を育みたい

自治自立の精神をもち、良心のもとに行動できる人。それが同志社人の姿です。言い換えれば、自分で考えて判断し、信念をもって前進していく人。また、人の痛みを知り、自らの力を世の中のために役立てる人——。わたしたちはそうした「同志社スピリット」にあふれる人を育てていきたいと考えています。

「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を土台にした同志社香里の教育は、まず第一に確かな基礎学力を育むものです。学ぶ力があってこそ未来を主体的に切り拓いていけるという考えから、週6日制のカリキュラムをはじめ、学力強化につながる先進的な学習制度を用意しています。

(2) 家族のような仲間たちとともに同志社人として成長していこう

同志社の根幹となるキリスト教精神を学ぶ聖書の時間や、活躍する社会人に学ぶキャリア教育、ほかにもボランティア活動や国際イベントへの参加など、人間としての成長をうながす教育機会を豊富に設けています。伝統的に活発なクラブ活動も、よき学びの場の一つ。目標の実現に向けて全力を尽くす経験から、学べるものは決して少なくありません。

受験勉強にとらわれないで学ぶ豊かな時間は、多感な若者にとって人生の大きな糧となるでしょう。また、個性豊かな仲間たちと切磋琢磨するなかで、強くなっていく同志社人としての絆は、生涯の大切な財産になると思います。個性と学力と可能性を大きく伸ばし、同志社香里でともに大きく成長することを願っています。

3. 2018年度の学校目標

建学の精神の具現化を目指し、本校の教育目標の達成を図るため、2018年度は前年度に続き以下の内容を重点目標に掲げて、教育活動に取り組みました。

- (1) 同志社スピリットに根ざした個性溢れる仲間づくり
- (2) 同志社スピリットに根ざした国際性豊かな人材の育成
- (3) 同志社スピリットに根ざした生きる力を育む確かな学力の修得
- (4) 地域・家庭との連携を深め、分掌・学年・教科の協働体制の構築

■2018年度 学校目標と具体的方策及び評価指標

評価項目	具体的方策	方策の評価指標
仲間志づきくたスリ個性溢れるに	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	同志社スピリットの柱である「キリスト教主義」の理解度が70%以上
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を発揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	行事、生徒会、部活の満足度70%以上。学校が楽しい、友人関係がよいが70%以上
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	部活動の種類が多く、参加率70%以上。施設・設備を充実させ、満足度が70%以上
な根同人志材のたス育成際リ性ツ豊トかに	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を高める	海外渡航経験者(修学旅行を含む)が全校生徒の50%以上。国際理解教育に注力しているとの評価が70%以上
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	毎年、留学生を受け入れ、在校生との交流を図っている
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	英会話の授業時間を確保し、英検取得を推奨する。高校卒業時で英検準2級取得率を70%以上とする
得育根同むぎ志確し社かたスな生ピ学きリ力るツのカト修をに	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて部活と勉強の両立を図り、家庭学習による主体的学びの習慣を身につけるようにする	授業評価(質問対応、努力評価、小テスト・補習)の肯定的評価が70%以上。部活と勉強の両立ができているが70%以上
	アクティブラーニングやICTの積極的な活用を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	授業評価(話合う・発表する・調べる・ICTを活用する)の肯定的評価が70%以上
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	同志社大学に関する情報提供を行い、高大連携授業を実施する
の年を地域構・深域築教め・科・家庭の分協掌と働・の体学連制携	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	ボランティア活動の参加を推奨し、PTA等の連携を図る。家庭向けの情報発信を積極的に行う
	分掌、教科、学年会議を定期的実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	教員からの評価で、協働体制ができているとの評価70%以上
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	学校評価の実施と情報公開を行っている。学校評価委員会による点検の実施、課題の抽出、情報公開の評価が70%以上

4. 2018年度 学校評価アンケート結果と分析

学校評価を行うにあたり、中学1～3年の生徒と保護者、高校1～3年の生徒と保護者、そして教員を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。アンケートは、総合満足度、学校生活、生徒指導、学習指導、国際教育、進路指導について質問しています。（中学生は715名、中学の保護者は644名、高校生は902名、高校の保護者は803名、教員は62名が回答）

(1) 総合満足度

総合満足度は「ロイヤリティ」（本校を友人・知人にすすめますか）と「満足度」（本校に入学してよかったですか）の平均値で算出しています。保護者と教員の「満足度」は、お子様もしくは生徒が（入学してよかったですか）の評価となっています。生徒、保護者、教員の総合満足度は、肯定的評価が90%前後と高い水準を示しています。生徒と保護者は、中学及び高校ともに総合満足度は高く、肯定的評価が90%以上と驚異的な高さを示しています。

(2) 中学校

中学校の領域別評価をみると、学校生活、生徒指導、国際教育について、生徒と保護者は高い評価をしており、80%以上が肯定的評価となっています。生徒は学習指導、進路指導の評価も70%以上が肯定的評価となっています。他方、保護者は学習指導と進路指導について、30%強が否定的評価となっており、課題がみられました。生徒指導について、教員はやや低く、30%弱が否定的評価となっており、課題がみられました。

(3) 高等学校

高等学校の領域別評価をみると、学校生活、生徒指導、学習指導、国際教育、進路指導について、生徒と保護者は概ね高い評価をしており、70%以上が肯定的評価となっています。ただし、生徒指導について、高3生徒と教員がそれぞれ30%弱が否定的評価となっており、課題がみられました。

(4) 学校生活について

中学生は、学校が楽しい、特色ある教育、文化祭、部活動、体育館・グラウンド・冷暖房について、90%以上が肯定的評価と高くなって

おり、満足度の高い様子が伺えます。建学の精神の理解、友人関係、体育祭、生徒会、トイレについて、80%以上が肯定的評価となっており、充実している様子が伺えます。部活と勉強の両立は30%が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校生も同様に学校生活について高い満足度を示しています。学校が楽しい、特色ある教育、友人関係、文化祭、修学旅行、生徒会、体育館・グラウンド・冷暖房について、90%以上が肯定的評価と高くなっており、満足度の高い様子が伺えます。建学の精神の理解、体育祭、部活動、トイレについて、80%以上が肯定的評価と高くなっています。他方、部活と勉強の両立は、30%弱が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

中学と高校の保護者は、ほとんどの項目で高い満足度を示しています。学校が楽しく、特色ある教育で、友人関係もよい、との肯定的評価が90%前後、行事や課外活動について、文化祭、修学旅行、生徒会、部活動の肯定的評価が80%以上と高い傾向を示しています。体育館・グラウンド・冷暖房、トイレなどの施設・設備の肯定的評価は90%以上と高い水準を示しています。他方、中学の保護者は体育祭について、肯定的評価が80%強と高いものの、否定的評価が20%弱あり、留意すべきものといえます。

教員は、すべての項目で高い評価をしています。学校が楽しく、友人関係もよい、との肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。行事や課外活動について、文化祭、修学旅行、生徒会、部活動は肯定的評価が90%前後と高い傾向を示しています。体育館・グラウンド・冷暖房、トイレなどの施設・設備も肯定的評価が90%以上と高い水準を示しています。体育祭は40%弱が、部活と勉強の両立は20%強が、否定的評価となっており、今後の課題といえます。

(5) 生徒指導について

中学生は、挨拶、遅刻、身だしなみ、携帯モラル、男女平等、性的指向、個人情報、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、親身な対応や人権教育について、20%強が否定的評価をしており、留意すべきものといえます。とりわけ中2生徒に低い傾向がみられ、今後の課題といえます。

高校生は、項目によって評価が分かれます。挨拶、身だしなみ、親身な対応、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、個人情報、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、70%以上が肯定的評価となっています。他方、遅刻は、否定的評価が30%強あり、課題がみられます。

中学の保護者は、概ね肯定的評価が多い傾向を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、親身な対応、携帯モラル、人権教育、男女平

等、性的指向、個人情報、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。

高校の保護者は、ほとんどの項目が肯定的評価となっており、満足度が高い様子を示しています。挨拶、遅刻、身だしなみ、親身な対応、携帯モラル、人権教育、男女平等、性的指向、個人情報、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、80%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺われます。

教員は、項目によって評価が分かれます。親身な対応、男女平等、個人情報について、肯定的評価が80%以上と高くなっています。挨拶、携帯モラル、性的指向、事件・地震対応、緊急時の連絡網について、70%以上が肯定的評価となっており、概ね十分な様子が伺われます。他方、遅刻、身だしなみ、人権教育について、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

(6)学習指導について

中学生は、項目によって評価が分かれます。質問対応、評価基準の明示、努力を認める、小テスト・補習、夏冬講習について、80%以上が肯定的評価と高くなっています。大学進学の話は40%弱、自習環境は30%弱が、それぞれ否定的評価となっており、今後の課題といえます。

高校生は、肯定的評価が多く、満足度の高い様子が伺えます。質問対応、評価基準の明示、努力を認める、小テスト・補習、夏冬講習、大学進学の話について、80%以上が肯定的評価と高くなっています。自習環境について30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

中学の保護者は、項目によって評価が分かれます。質問対応、評価基準の明示、努力を認める、小テスト・補習について、70%以上が肯定的評価となっています。他方、大学進学の話、自習環境について40%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。特に中2保護者に低い傾向がみられ、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校の保護者は、項目によって評価が分かれます。質問対応、評価基準の明示、努力を認める、小テスト・補習、大学進学の話について、70%以上が肯定的評価となっており、概ね満足度の高い様子が伺えます。夏冬講習は30%、自習環境は40%が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

教員は、概ね高い評価となっています。質問対応、評価基準の明示、努力を認める、小テスト・補習、大学進学の話について、80%以上が肯定的評価となっています。夏冬講習は20%強、自習環境は40%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

(7) 国際教育・進路指導について

国際教育について、中学生と高校生及び高校の保護者は高い評価となっています。国際理解教育、留学・語学研修、英検等の資格取得すべてが高い評価となっています。他方、中学の保護者は、国際理解教育と留学・語学研修は80%以上が肯定的評価となっていますが、英検等の資格取得について30%前後が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

進路指導について、中学と高校、生徒と保護者それぞれに評価が分かれます。中学生は、目標設定、同志社大学への進学情報、キャリア教育、資料・設備について、70%以上が肯定的評価となっており、満足度の高い様子が伺えます。他方、進路相談について、30%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。学年が下がるほど否定的評価が高くなる傾向がみられ、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校生は、すべての項目について肯定的評価が80%以上あり、満足度の高い様子が伺われます。同志社大学への進学情報について、90%以上が肯定的評価となっています。

中学の保護者は、すべての項目について否定的評価が多くなっており、懸念されます。目標設定、同志社大学への進学情報、進路相談、キャリア教育、資料・設備について、30%強が否定的評価となっており、よりキメ細かい対応が必要といえます。

高校の保護者は、すべての項目で肯定的評価が70%以上あり、満足度の高い様子が伺えます。同志社大学への進学情報は80%強が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。目標設定、進路相談、キャリア教育、資料・設備について、70%強が肯定的評価となっています。

教員は、項目によって評価が分かれます。同志社大学への進学情報は90%以上が肯定的評価をしており、十分な様子が伺えます。進路相談について、80%が肯定的評価となっています。目標設定、キャリア教育について30%前後が、資料の整備について50%強が否定的評価となっており、今後の課題といえます。

■資料(2018年度 学校評価アンケート結果)

(単位:%)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		学校に行くのが楽しい	この学校には、他の学校にない特色がある	同志社建学の精神である「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を知っている	本校の友人関係はよいと思っている	文化祭は楽しく行えるよう工夫されている	体育祭は楽しく行えるよう工夫されている	修学旅行は楽しく行えるよう工夫されている	生徒・自治会活動は活発である	部活動に積極的に取り組んでいる	部活と勉強の両立はできている	教室の冷暖房設備、特別教室や体育館・グラウンドなどが充実している	トイレはいつも清潔に保たれている
中学・生徒	よくあてはまる	54.4	67.3	41.3	46.0	62.9	51.3	47.3	50.8	66.3	30.5	68.7	42.5
	ややあてはまる	35.7	28.5	39.9	42.7	29.5	35.4	26.0	37.2	23.8	40.3	24.5	40.8
	あまりあてはまらない	8.0	2.5	15.9	9.8	6.0	10.3	4.2	8.0	5.2	22.0	5.0	14.3
	まったくあてはまらない	1.7	1.4	2.8	1.1	1.5	2.5	2.1	2.5	3.9	6.6	1.7	2.2
	無回答	0.3	0.3	0.1	0.4	0.0	0.4	20.4	1.5	0.8	0.7	0.1	0.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	55.8	63.4	41.0	54.2	61.6	49.3	61.8	54.1	62.1	33.8	64.3	54.2
	ややあてはまる	35.1	31.7	44.0	38.7	30.8	34.0	32.4	36.9	24.3	38.4	27.1	34.7
	あまりあてはまらない	6.8	3.8	12.1	5.2	5.8	12.7	3.5	7.0	5.8	19.1	7.0	9.4
	まったくあてはまらない	2.3	1.1	2.8	1.9	1.8	3.9	1.6	2.0	7.6	8.5	1.7	1.7
	無回答	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	55.3	43.0	39.8	42.2	62.1	40.4	35.9	43.6	73.1	24.2	71.4	49.5
	ややあてはまる	34.5	45.3	49.7	48.3	32.6	41.0	42.4	45.3	22.8	41.6	24.8	40.4
	あまりあてはまらない	7.9	9.9	9.0	7.1	4.5	15.7	8.1	7.6	3.4	25.3	2.6	8.7
	まったくあてはまらない	1.6	0.9	0.9	1.7	0.6	2.6	0.8	1.1	0.5	8.7	0.5	0.6
	無回答	0.8	0.8	0.6	0.6	0.2	0.3	12.9	2.3	0.2	0.2	0.6	0.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	54.9	42.7	41.6	55.3	65.5	50.1	51.4	40.6	67.7	29.3	74.8	53.4
	ややあてはまる	36.7	48.6	48.2	38.1	29.6	37.7	40.3	51.4	28.3	42.8	21.7	38.0
	あまりあてはまらない	6.8	7.3	9.1	5.2	3.7	10.1	5.2	6.7	2.7	21.3	2.5	6.8
	まったくあてはまらない	1.4	1.0	1.1	1.1	1.0	2.0	1.4	0.7	1.1	6.0	0.9	1.6
	無回答	0.1	0.4	0.0	0.2	0.1	0.1	1.6	0.5	0.1	0.6	0.1	0.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	45.2	33.9	19.4	29.0	48.4	21.0	43.5	38.7	75.8	16.1	79.0	50.0
	ややあてはまる	51.6	53.2	59.7	64.5	48.4	40.3	51.6	48.4	19.4	59.7	19.4	38.7
	あまりあてはまらない	3.2	12.9	21.0	6.5	3.2	32.3	4.8	12.9	3.2	22.6	0.0	9.7
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
		生徒は挨拶をよくしている	生徒は遅刻をしないほうだ	生徒は正しい身だしなみ(頭髪、服装など)をしている	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い	携帯電話やインターネットの利用におけるモラルについて学ぶ機会がある	人権について学ぶ機会がある	学校で、男女は平等に扱われている	学校で、性的指向や性自認について、嫌な思いをすることはしない	先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる	緊急対応マニュアルがあり、学校で事件・地震や火災などがおこった場合に、どう行動したらよいかを知らされている	緊急時の連絡網はしっかり整備されている
中学・生徒	よくあてはまる	34.8	36.2	33.0	34.8	47.6	35.7	45.2	55.2	45.9	54.1	51.0
	ややあてはまる	46.4	49.7	47.0	40.0	39.3	44.1	36.8	34.5	37.8	37.5	36.9
	あまりあてはまらない	15.4	10.9	17.6	18.5	10.5	16.1	12.9	7.0	10.6	6.3	8.8
	まったくあてはまらない	3.2	2.9	2.4	5.9	2.5	3.4	4.9	3.1	4.1	1.8	2.7
	無回答	0.1	0.3	0.0	0.8	0.1	0.8	0.3	0.1	1.7	0.3	0.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	27.9	20.1	23.3	31.8	43.5	36.7	49.6	56.8	45.1	42.6	38.8
	ややあてはまる	49.9	43.6	47.6	46.7	44.9	46.7	37.9	36.0	42.6	45.1	47.6
	あまりあてはまらない	19.0	31.7	23.7	17.1	9.2	14.2	8.4	5.5	9.3	10.2	10.2
	まったくあてはまらない	3.1	4.7	5.2	4.3	2.4	2.4	4.1	1.3	2.8	1.9	3.3
	無回答	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	40.4	49.8	47.8	27.3	33.2	36.2	53.7	49.7	48.8	36.8	49.8
	ややあてはまる	45.8	42.1	44.7	52.3	46.0	49.2	40.4	42.1	44.3	47.2	41.6
	あまりあてはまらない	11.5	5.1	6.4	16.8	17.4	11.2	3.6	5.0	4.8	13.7	7.1
	まったくあてはまらない	1.7	0.9	0.9	1.9	2.6	1.7	1.2	0.8	0.6	0.9	0.8
	無回答	0.6	2.0	0.2	1.7	0.8	1.7	1.1	2.5	1.6	1.4	0.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	35.1	39.1	37.7	26.9	34.2	31.9	50.3	51.4	47.6	35.7	48.3
	ややあてはまる	46.8	49.6	51.2	53.8	49.9	55.5	45.5	43.6	45.7	47.9	42.6
	あまりあてはまらない	16.3	9.5	9.1	15.8	13.7	10.2	2.9	2.6	5.2	13.7	7.7
	まったくあてはまらない	1.4	1.0	1.7	2.0	1.7	1.6	1.0	1.2	1.1	1.7	0.9
	無回答	0.4	0.9	0.2	1.5	0.4	0.7	0.4	1.1	0.4	0.9	0.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	21.0	16.1	14.5	38.7	21.0	16.1	41.9	16.1	38.7	22.6	14.5
	ややあてはまる	56.5	51.6	53.2	51.6	58.1	50.0	45.2	54.8	46.8	48.4	56.5
	あまりあてはまらない	21.0	29.0	29.0	8.1	19.4	29.0	11.3	24.2	14.5	27.4	29.0
	まったくあてはまらない	1.6	3.2	3.2	1.6	1.6	4.8	1.6	3.2	0.0	1.6	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位:%)

		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
		授業でわからないことについて、先生に質問しやすい	評価の仕方や基準が事前に示されており、課題に対する先生の評価は適切である	先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる	小テストや日々の補習が充実している	夏期講習、冬期講習などの長期休暇中の講習が充実している	大学進学の話の時おりする先生が多い	学校で、自習できる環境が整っている	ネイティブの先生による英語の授業や国際理解教育が充実している	海外留学(短期、長期)や海外語学研修の制度が充実している	英検・TOEIC・TOEFLなどの資格取得の指導が充実している
中学・生徒	よくあてはまる	38.6	42.4	42.2	52.2	44.8	25.7	37.1	53.8	53.3	43.4
	ややあてはまる	38.6	45.2	41.8	39.9	39.2	37.2	36.1	36.6	32.7	37.6
	あまりあてはまらない	18.0	9.1	11.9	6.4	11.2	25.9	21.1	6.9	6.0	9.0
	まったくあてはまらない	4.8	3.2	3.8	1.5	3.4	9.5	5.6	1.8	3.5	4.9
	無回答	0.0	0.1	0.3	0.0	1.5	1.7	0.1	0.8	4.5	5.2
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	46.3	37.8	34.7	42.8	36.0	41.9	30.3	52.3	52.8	50.9
	ややあてはまる	42.0	49.1	52.0	47.1	47.3	44.9	38.2	38.4	38.7	37.0
	あまりあてはまらない	10.1	10.2	11.0	8.4	13.0	11.4	23.1	6.7	7.2	10.3
	まったくあてはまらない	1.6	2.8	2.3	1.7	3.7	1.7	8.3	2.4	1.2	1.7
	無回答	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	24.7	26.2	33.1	34.5	23.6	10.7	17.2	32.0	37.4	25.6
	ややあてはまる	48.6	59.9	55.7	47.4	40.8	41.1	40.5	47.5	46.9	44.3
	あまりあてはまらない	21.3	11.2	8.5	15.5	28.6	37.1	31.5	14.4	10.1	21.3
	まったくあてはまらない	3.6	1.1	0.9	2.0	5.6	4.5	7.8	1.9	1.7	3.4
	無回答	1.9	1.6	1.7	0.6	1.4	6.5	3.0	4.2	3.9	5.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	32.3	24.3	29.1	30.6	23.4	24.0	20.4	37.4	43.6	37.4
	ややあてはまる	49.7	61.8	59.7	53.4	46.6	53.7	40.5	50.2	47.1	45.2
	あまりあてはまらない	15.8	11.5	9.1	14.2	23.7	17.4	30.3	9.0	6.7	13.4
	まったくあてはまらない	1.2	1.6	1.0	1.0	5.6	1.7	7.3	2.1	1.6	2.5
	無回答	1.0	0.9	1.1	0.7	0.7	3.1	1.5	1.4	1.0	1.5
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	29.0	22.6	30.6	38.7	25.8	27.4	11.3	25.8	59.7	46.8
	ややあてはまる	61.3	64.5	56.5	50.0	48.4	53.2	41.9	54.8	38.7	46.8
	あまりあてはまらない	9.7	11.3	9.7	9.7	21.0	17.7	40.3	17.7	0.0	4.8
	まったくあてはまらない	0.0	0.0	1.6	0.0	3.2	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0
	無回答	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6	1.6	1.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(単位：%)

		34	35	36	37	38	39	40
		進路選択に役立つ行事があり、明確な目標・夢が持てる指導がされている	同志社大学への進学に関する情報が十分に提供されている	進路に関して個別の相談に丁寧に応じてくれる	6年間を見通した進路指導・キャリア教育が充実している	進路について調べたいときに、必要な資料・設備が整っている	知り合いや後輩に本校への入学をすすめますか	この学校に入学してよかったと思いますか
中学・生徒	よくあてはまる	33.6	36.9	30.6	38.6	35.8	59.6	65.7
	ややあてはまる	41.1	37.5	35.5	35.2	36.4	29.7	27.6
	あまりあてはまらない	15.4	16.2	20.1	15.5	16.5	5.6	3.6
	まったくあてはまらない	5.3	5.3	6.7	5.0	6.2	4.5	2.7
	無回答	4.6	4.1	7.0	5.6	5.2	0.7	0.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・生徒	よくあてはまる	38.6	49.1	37.9	40.5	38.2	59.6	70.8
	ややあてはまる	42.9	41.9	43.3	43.7	43.7	29.6	23.4
	あまりあてはまらない	14.1	6.7	14.5	12.3	14.3	6.1	4.4
	まったくあてはまらない	4.1	2.2	3.8	3.3	3.7	4.2	1.0
	無回答	0.3	0.1	0.4	0.2	0.1	0.4	0.3
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中学・保護者	よくあてはまる	20.5	23.4	17.2	22.0	17.5	50.9	64.3
	ややあてはまる	40.5	46.0	45.0	44.9	40.7	39.0	28.3
	あまりあてはまらない	27.8	22.8	23.4	21.6	27.2	7.3	5.0
	まったくあてはまらない	4.2	3.0	4.2	4.0	4.8	1.6	1.1
	無回答	7.0	4.8	10.1	7.5	9.8	1.2	1.4
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高校・保護者	よくあてはまる	27.8	40.6	26.2	27.9	25.7	56.7	71.0
	ややあてはまる	50.9	46.3	49.4	50.1	49.8	34.6	22.5
	あまりあてはまらない	16.6	10.7	18.7	16.3	18.7	5.7	3.6
	まったくあてはまらない	3.1	1.2	3.5	3.9	3.4	1.7	1.7
	無回答	1.6	1.1	2.2	1.9	2.5	1.2	1.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
教員	よくあてはまる	24.2	54.8	33.9	21.0	16.1	35.5	53.2
	ややあてはまる	48.4	40.3	46.8	48.4	32.3	45.2	41.9
	あまりあてはまらない	24.2	3.2	17.7	27.4	46.8	12.9	3.2
	まったくあてはまらない	1.6	0.0	0.0	1.6	3.2	6.5	0.0
	無回答	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	1.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 2018年度 自己評価及び次年度の課題と改善策

【自己評価】 A:達成できた B:概ね達成できた C:やや課題を残した D:課題を残した

評価項目	具体的方策	評価	活動実績	次年度の課題と改善策
りし同 た志 個性 社会 溢れ れる ッ 仲 間 に づ 根 ざ	聖書を学ぶ時間を通し、キリスト教主義の理解を深める	B	聖書に触れ、教員の講話を聞き、真理について考える礼拝の時間を設けている。礼拝は週2回のショート礼拝と隔週のロング礼拝を実施。生徒の理解度は80%強あるものの、興味関心では60%前後に低下する。	現在も正課の授業として聖書を学んでおり、礼拝とともに今後も充実した内容の改善を図っていく。とりわけ学習目的・目標を明確にし、興味関心が向上するよう工夫する。
	行事(文化祭、体育祭など)を通じて、一人ひとりの個性を発揮するとともに、お互いを尊重する風土を醸成する	A	生徒が企画から運営までを手掛け、チームワークや主体性を育成するものとして5月の体育祭、10月の文化祭を実施している。生徒の満足度も高く、80%以上が肯定的評価となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。企画、運営を生徒に任せ自主性を重んじていることが成功の要因といえ、今後も生徒主体の運営を推奨していきたい。
	個性に応じた特別教育(部活動など)の場を設け、一人ひとりの個性を伸ばす活動の場を提供する	A	運動部が18、文化部が18あり、部活動は活発だと生徒・保護者ともに80%以上が評価しており、充実しているものと評価できる。施設・設備の満足度も高く、一人ひとりの個性に応じた活動ができていているものといえる。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。部活顧問によって活動方針・内容等のバラツキが指摘されており、勉強との両立をはじめとして課題の共有化を図っていく。
た同 国際 社会 性 ス 豊 か リ ナ ッ 人 材 に の 根 育 ざ 成 し	海外留学、海外語学研修、海外修学旅行を通して、国際理解を促進するとともに、国際社会への興味関心を高める	A	海外研修のプログラムとして、夏期語学研修ニュージーランド・カナダ、春期語学研修ポストン・イギリス、サンフランシスコ・NUEVA交流、短期留学(オーストラリア、ハワイ)を提供している。修学旅行を含め、人数としては全校生徒の80%が海外渡航経験者となっている。	現状の満足度は高く、この水準を維持していくよう努めていく。海外経験のある生徒数はすでに十分な水準であるので、今後は、研修や旅行の内容を吟味して、より国際理解が進むようプログラムの充実を図っていく。
	海外提携校との交流を促進することによって、日常の学校生活のなかで国際理解を深め、国際人としての素養が身につくようにする	A	海外からの留学生が現在2人在籍しており、在学生との交流を深めている。その他、サッカー部はイングランドへ遠征に行くなどして交流を行っている。	今後は、海外からの留学生の受け入れを促進するとともに、同志社大学に在籍する留学生等との交流も視野に入れた展開も検討していく。また、こちらから海外へ留学する生徒の支援も今後も引き続き注力していく。
	コミュニケーションツールとしての英語教育に力を入れ、読む、書く、聞く、話す能力を授業や課外の活動によって習得できるようにする	B	自分の思いを英語で伝えることを目的に、英語スピーチコンテスト「THE SMALL PLANET」を開催。その他、法人全体の取り組みである「立石杯」に参加。日常的にはネイティブによる授業を6年間実施。高校卒業時100%が英検準2級以上を取得。	英語スピーチコンテストの参加者の裾野を広げるよう、日常の授業のなかで意識的に指導をしたり、ネイティブの授業を中心に、自分の意見を英語で表現できるよう基礎能力の習得に努めていく。
力た同 の生 志 修 き 社 得 る ス ピ カ を リ 育 ツ む 確 に か 根 な ざ 学 し	授業を基本に据え、基礎学力の向上を図る。併せて部活と勉強の両立を図り、家庭学習による主体的学びの習慣を身につけるようにする	C	授業評価(質問対応、努力評価、小テスト・補習)の肯定的評価は80%前後。家庭学習の定着は低い傾向がみられる。部活の参加率は中学・高校ともに80%強と高いが、部活と勉強の両立について30%弱が否定的評価となっている。	授業の満足度は概ね高い傾向を示しているが、中学生の質問対応の評価がやや低いので、より丁寧な指導を心がける。生徒の家庭学習の定着率が低いため、今後は学習目的・目標や授業での興味関心度を高めていく。また部活と勉強の両立に配慮するよう顧問の意識改革を図る。
	アクティブラーニングやICTの積極的な活用を通じて、主体的に学び、自分の考えを発表する能力が身につくようにする	B	授業でのアクティブラーニング(話し合う・発表する・調べる)の活用は中学及び高校ともに60%弱の水準。ICTの活用は中学及び高校ともに50%前後の水準。	アクティブラーニングとICT活用は国語、社会、英語で導入が進んでいるが、他の教科は低い傾向がみられる。今後は主体的な学習の意義を再度確認し、教科間のバラツキを減らしていく。
	高大連携によって、将来の仕事や学問に対する興味関心の喚起を図り、進路選択を考える機会を提供していく	B	同志社大学の学部説明会は高1～高3生に実施しており、内容の理解度は十分といえる。中学生では情報不足となっており、課題を残している。中学の保護者は進路指導に対して30%強が否定的評価となっている。	同志社大学に関する情報提供は高校生に対しては十分であるが、今後は中学生の早い時期から情報提供に留意していく。また、中高6年間を通じて、将来の仕事等も視野に入れたキャリア教育の内容の充実に努める。
科深地 のめ 域 協 働 ・ 働 分 家 体 掌 制 ・ と の 構 年 連 築 ・ 携 教 を	地域活動への積極的参加を促し、保護者に対する情報発信の頻度を高め、教育活動の理解を促進する	B	主としてボランティア部が中心となって、PTAと協力して地域の清掃活動や福祉・児童施設への訪問活動を積極的に実施している。また、海外にも活動を広げておりラオスに学校建設の募金活動も行った。	地域活動やボランティア活動の啓蒙を行い、参加する生徒の裾野の拡大を図っていく。生徒会・自治会、PTA、学年会等での情報発信に努めていく。
	分掌、教科、学年会議を定期的実施し、課題解決に向けて迅速な対応をする	C	分掌、教科、学年の各会議は定期的実施しており、各組織内で情報や課題の共有化に努めている。ただし、実施頻度や討議内容については、不十分の評価もあり、課題を有している。	教員の兼務が多いため、個々の分掌、教科、学年における集合討議や協働の時間がとれない場合がみられることから、今後は業務の整理と優先順位を勘案して、課題解決に取り組んでいく。
	学校評価を通じて、今年度の重点目標のPDCAサイクルを構築する	B	毎年、学校評価委員会を設置して、生徒、保護者、教員のアンケート調査を実施している。調査結果を基に自己評価を行い、ホームページに公開している。	毎年、自己評価を実施しており、今後はPDCAサイクルの内容がより充実するよう管理職、学校評価委員会を中心に改善を図っていく。また建学の精神をはじめ同志社香里らしさを再確認し、伝統の継承にも留意する。

6. 2018年度 学校関係者評価の結果

PTA役員5名と同志社大学の土屋先生の計6名によって学校関係者評価をして頂きました。総合評価はA評価(達成できている)を頂きました。領域別にみると、A評価とB評価に分かれます。キャリア教育(A評価4名)、保健管理(同5名)、情報提供・公開(同3名)、保護者・地域住民との連携(同4名)、教育環境整備(同4名)はA評価となっています。その他の領域はB評価となっており、一部に課題がみられ指摘を頂いています。C評価は、建学の精神・教育目標で1名、教育課程・学習指導で2名、生徒指導で各1名いました。D評価はありませんでした。6名の平均とコメントは以下のとおりとなります。

【学校関係者評価】 A: 達成できている B: 概ね達成できている C: やや課題を残している D: 課題を残している

評価領域	内容	評価	自由記述
1. 建学の精神・教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 内容は伝わっていますか 目標は達成されていますか 	B	<ul style="list-style-type: none"> 建学の精神、教育目標はなかなか生徒に伝わっていないかと思います。 新島精神とキリスト教精神を柱に教えて頂けて、ブレない軸があることで、子供も学校を信頼する心を育てて頂いていると思います。 中学での建学の精神の項目が昨年度より若干低下しているのが気に掛かる。在学年数が少ないため低く出るのは仕方ない面もあるが、やはり早い段階で理解が進むと学校生活が豊かになると考えられるので一層の努力が望まれる。ただし、高校では向上しているためその点は評価できる。また、保護者に建学の精神が伝わっているのは、さすが同志社という感がある。代々リピーターが多いことの証であろう。特に香里はリピーターを大切にすべきである。 素晴らしいと思いました。
2. 教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容(授業)は十分ですか 学習指導(授業)は十分ですか 家庭学習の指導は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> 教わる先生によって(同じ教科)分かりやすい、分かりにくいがあるようで、クラスの平均点にも影響が出ているように思います。 先生によって授業内容、分かりやすさにかなり差があるように思います。 英語や数学を体系的に学べるのがよいと思います。歴史の教科書はなぜ「つくる会」のものなのか、よくわかりません。授業内容はすばらしいです。 学生に聞くと最近の香里では詰込み教育が行われているようで、疲れ切って大学に進学している学生が少なからずいると感じる。 学習時間は少ないと思いましたが、それでも良いと思います。
3. キャリア教育(進路指導)	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の内容は十分ですか キャリア(進路)指導は十分ですか 中学からの進路指導は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> どうしても大学の学部の内容が見えにくい所があるかと思います。学部も多いので仕方ないかと思うのですが。 子供に「職について考える」ことになり、いざなって頂き満足しています。 将来の進路選択のための行事や同大の情報提供が、特に高校で改善されているのは好ましい。キャリアという言葉を生徒が理解しているかも疑問である。

評価領域	内容	評価	自由記述
4.生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の規律、マナー等は十分ですか ・生徒指導、部活指導は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に関して顧問の先生によって熱心さや指導方針に違いがあり、とまどいます。 ・かなりレベルが高いと思いました。 ・子供に地域の方への尊敬の気持ちをもってほしいと思うのですが…。親も指導しなくてはと思います。 ・高校で遅刻、身だしなみの項目が若干改善しているのは評価できる。部活動は積極的に取り組んでいる生徒が多いが、勉強との両立が難しいと感じている割合が高いため、指導方法に工夫が必要であろう。
5.保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康への配慮は十分ですか ・相談対応は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健だより」をまめに届けていただけるのでわかりやすいです。 ・子供の部活のけがの時も、適切に対応して頂き感謝しています。 ・中学で担任外への相談の評価が低下しているのは気になるが、高校ではかなり改善されているのは評価できる。
6.安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理対応は十分ですか ・非常時対応マニュアルは十分ですか ・施設、設備の安全管理は十分ですか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子供に直接連絡して下さるシステムになり、とても効率的になると思います。 ・昨年の災害時に混乱が見られたが、現在対応に向けて改善されているところに期待。 ・地震の時、子供との連絡がなかなかとれませんでした。 ・少し不安ありますが、前向きに取り組んでいると思います。 ・近年改善されたようで、特に問題は認められない。
7.情報提供・公開	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡は十分ですか ・HPなど学校情報の発信は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイテクを導入するべきだと思います。 ・子供を通じてのお知らせは届かなかったり遅れたりすることが多いので、直接保護者に届くようにしてほしいです。特に成績等、大事な事に関してはそう思います。 ・十分だと思います。 ・保護者との意思疎通は、特に高校で改善が認められる。
8.保護者、地域住民等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携は十分ですか ・地域との交流は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題は認められない。 ・他校と比べてズバ抜けていると思います。 ・中3から高1に進学する際、2学期の終わりごろか3学期の初めには何かしら連絡が欲しいと思います。本当に高校に進学できるか不安になる保護者の方がたくさんいらっしゃいました。
9.教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備は十分ですか ・教育環境は十分ですか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備はとても恵まれた環境であると感じます。 ・申し分ないと思います。 ・順次改善等はされているが、設備が古いところがあるのは否めない。 ・ラーニングコモンズなどの自習・補習環境を整えれば、塾の必要性も感じなくなり、ついていける率も高まるのではないかと。例えば、香里を卒業した大学生をラーニングコモンズでラーニングアシスタントとして雇い、指導を手伝ってもらうというのも手である。 ・メディアセンターも楽しみにしています。
10.総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の全体的な評価 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいて、高レベルの教育がなされていると感じました。協調性が強い生徒が育っていると思います。 ・全体的にはとても満足していますし、とてもいい学校だと娘を6年間通わせて頂き、心から思います。 ・すばらしい環境で学ばせて頂いて感謝しております。 ・大学で香里卒業生と接すると、香里らしさが年々失われていると感じており、少々残念である。

7. 学校評価(自己評価・学校関係者評価)を踏まえた次年度方針

同志社香里中学校・高等学校 校長 瀧 英次

2018年度は、個性溢れる仲間づくり、国際性豊かな人材の育成、生きる力を育む確かな学力の修得、地域・家庭との連携を深め、分掌・学年・教科の協働体制の構築の4つを重点目標に掲げ、中学からの進路指導の内容見直しと充実、主体的な学習習慣(家庭学習)の定着と校内における自習環境の整備、部活と勉強のバランスを図る、に注力してきました。生徒、保護者、教員の三者を対象とする学校評価アンケートを実施し、それを基に学校評価委員会による自己評価を行いました。また、PTA役員及び同志社大学教員による学校関係者評価をして頂きました。学校評価アンケートや学校評価(自己評価、学校関係者評価)の結果及び提案を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

1. 学校全体の印象や総合満足について

- (1)「本校に入学してよかった」と90%以上の生徒及び保護者が思っており、学校生活に対する満足度は高い水準にあります。他方、校風の自由さに対して厳しい意見もあり、今後は内実を伴った教育活動を意識して取り組んでいきます。
- (2)そのためにも、聖書の授業や礼拝との相乗効果により、キリスト教主義に基づいた良心教育、自由主義、国際主義の啓蒙に努め、生徒の理解促進や興味関心の向上を図る工夫を引き続き心がけていきます。

2. 教科・学習指導について

- (1)本校の教科・学習指導について、概ね満足度の高い評価を生徒及び保護者から頂いていますが、本校の特性上、大学受験の意識が低い傾向にあり、学習意欲や学習姿勢に課題がやや見受けられます。家庭学習の定着を図るため宿題や課題の工夫をしています。
- (2)主体的な学習の定着を図るため、アクティブラーニング(話合う・発表する・調べる等)やICTを積極活用し、授業での興味喚起を高め、家庭学習の定着化の指導を充実していきます。

3. 進路指導について

- (1)同志社大学の情報提供を早い時期から提供し始めたところ、中学と高校の生徒及び保護者の肯定的評価が上昇しました。引き続き内容を充実させるとともに、今後は職業観やキャリアを意識した展開を充実していきます。

4. 地域・家庭との連携と協働体制について

(1) 地域・家庭との連携をさらに深める努力をしていきます。とりわけ家庭に対する情報提供は、さらなる充実に心がけ、ITやホームページなどを利用した幅広い展開を検討していきます。

(2) 教員間、教員・事務間の密接な連携を促進するため、会議の充実を図り、円滑なコミュニケーションができるようマネジメントの工夫を重ねていきます。

以上の内容を踏まえて、2019年度は以下のような教育改善PDCAサイクルを回すよう努力していきます。

■2019年度 教育改善PDCAサイクルのイメージ

